

韓国 大田保健大学にて国際交流

保健衛生学部 医療栄養学科 教授 村林 新吾

8月9日(金)～13日(火)ゼミの一環として国際交流をかねて隣国の大韓民国を訪問しました。「韓国を見て聞いて学ぼう」を目標に、9日7時30分セントレア国際線ロビーに学生と集合し出発しました。仁川国際空港に到着後、高速バスで大田市へ向かい、バスターミナルに国際交流協定校である大田保健大学の先生に迎えに来ていただきました。大学へ到着後、総長と学長が出迎えて熱く歓迎していただきました。

学生は緊張して学んできた韓国語も使えないまま懇談がはじまり、その後、学内見学をしました。食事にも副学長が同行され韓定食をいただきました。大学寮の空き部屋の個室を私たちに手配していただき、韓国の大学生と同じように生活、宿泊を体験しました。2日目は研修が始まり様々な施設を見学しました。大田保健大学は4年制の栄養学科と2・3年制の調理学科がありますが、そのカリキュラムの違いを解説いただきました。卒業生も来ていただき、徴兵制のシステムや徴兵後大学に復学する割合、入隊する年齢と期間、軍の食事はどのようなものかなど、日本にない制度を説明してくれました。昼食にはサムゲタンを作りました。最終日には総長より、「また必ず韓国へ来てください」との言葉もいただきました。大学の皆さまと別れソウルへ列車で移動して、学生

はソウルタワーへ、次の日も街並みを散策し韓国の若者たちの熱気を感じました。最終日の朝、学生は切符の買い方も勉強しながら仁川国際空港へ電車で移動し、10時45分セントレアへ到着しました。

短い時間でしたが無事、事故もなく良い交流ができました。大田保健大学の皆さまと様々な情報を交換しましたので、今後も両校間で活発に交流したいと思います。

